

2020年度 子どもの日本語教育研究会 特別企画

沖縄県の子どもの日本語教育にかかわる 実践事例報告

沖縄県子ども日本語教育研究会(JSLOネット)

平良ゆかり・天願千里佳

高橋美奈子・渡真利聖子

2020年8月23日

「沖縄県子ども日本語教育研究会」とは



■ 背景:

- ◆ 県内各地で、学校の日本語教室担当者や市町村の日本語指導員等が、現場で悩みを抱えながらも孤立している状況
- ◆ 2014年5月から関係者で集まり、勉強会を開催。翌月からはメーリングリストでつながり始める（現在、登録数47名）

■ 主な活動:

- ◆ 定期的な勉強会の開催、メーリスによる情報共有等



「沖縄県子ども日本語教育研究会」とは



■ 研究会の役割:

- ◆ 沖縄県内で子どもの日本語教育に関わる「人」をつなげ、「情報」をつなげ、「実践」をつなげるネットワーク

■ URL: <https://jslonet.jimdofree.com>

■ 問い合わせ先: jslonetjimu@gmail.com



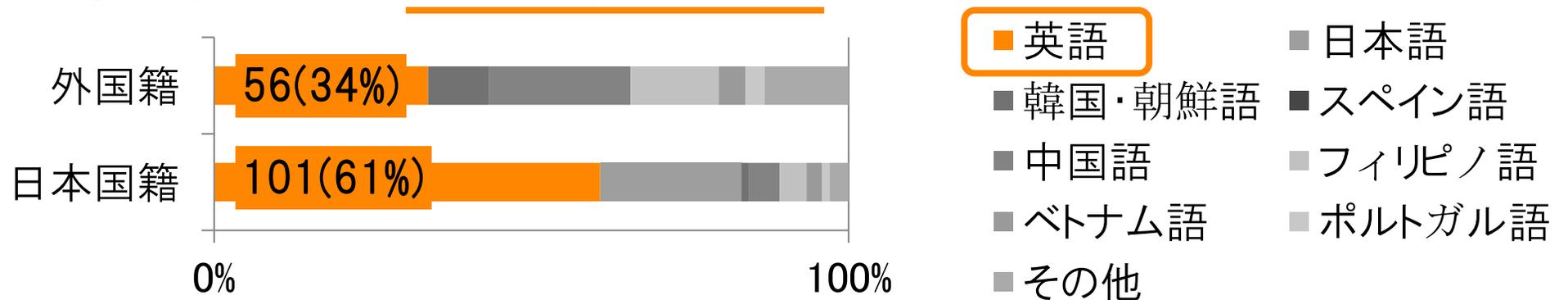
沖縄県の子どもの日本語教育にかかわる現状と課題(1)

■ 日本語指導が必要な児童生徒(H30年度)(文部科学省2019)

◆ ①国籍別合計

外国籍	166人
日本国籍	166人
合計	332人

◆ ②国籍・母語別数 → ※いずれも「英語」が最多



出典:文部科学省(2019)

『「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)」の結果について』

沖縄県の子どもの日本語教育にかかわる現状と課題(2)

■ 日本語指導のための教員が加配されている学校(2020年4月時点)

(沖縄県子ども日本語教育研究会調べ)

小学校	15校 / 260校
中学校	1校 / 144校
合計	16校 / 404校

→ ※本務教員ではなく、臨時任用教員が担当

小学校現場-教員から

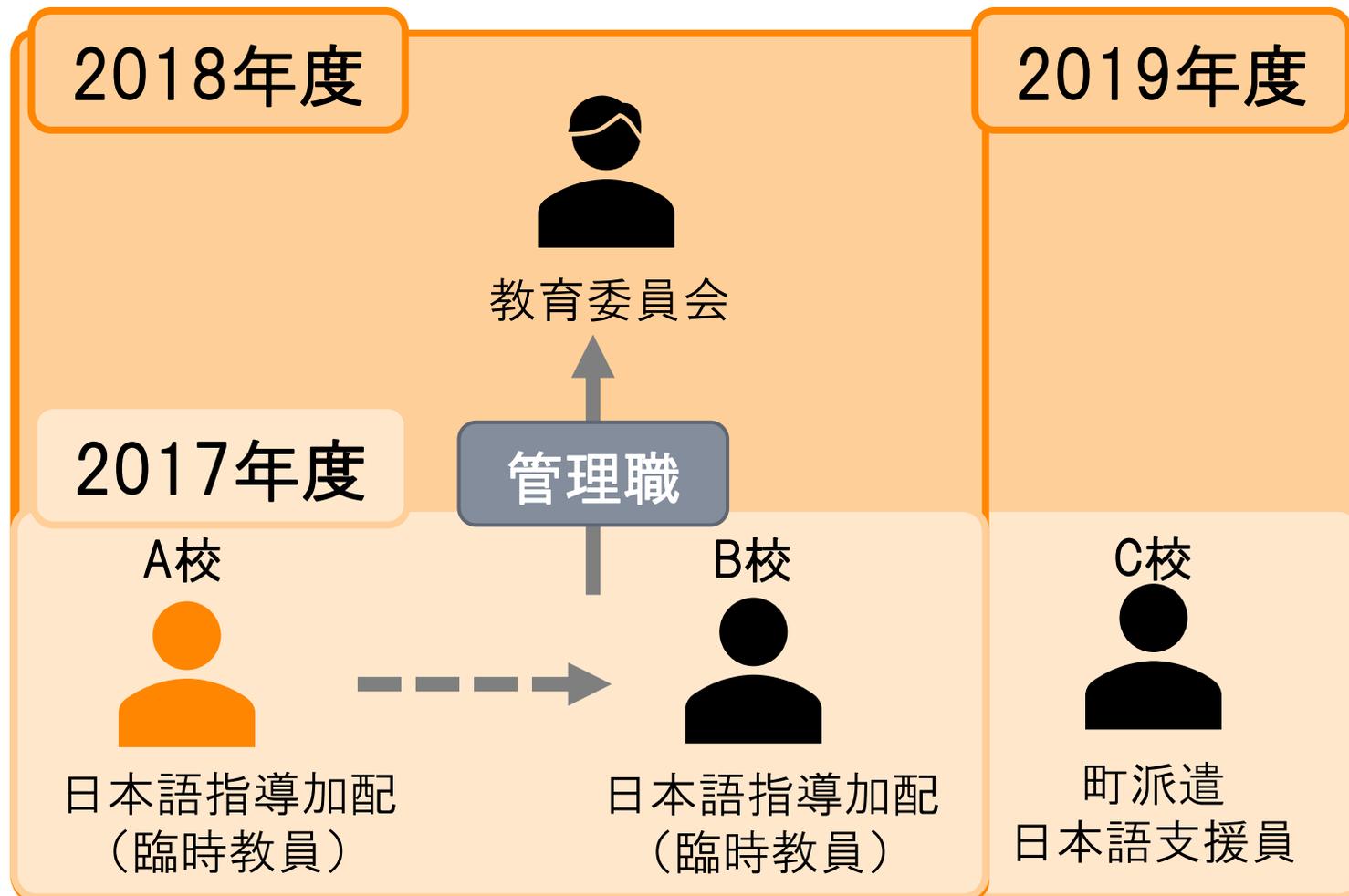
—これまで実践してきたこと(1)

- 沖縄県中頭郡北谷町^{ちやたん}・・・基地関係も含め国際色豊かな町
 - ◆ 若者や観光客、外国人に人気のアメリカンビレッジがある
 - ◆ 4つの米軍関係施設があり、町の面積の半分以上を占めている
 - ◆ 人口統計に含まれない基地関係者が人口の約30%に相当する
- 公立学校
 - ◆ 小学校4校、中学校2校、高校1校
 - ◆ 2016年度までは、日本語教室が1つ(日本語指導加配配置)、町の日本語支援員が1名
 - ◆ 2017年度から日本語教教室が2つ、日本語支援員なし



小学校現場-教員から

—これまで実践してきたこと(2)



改善されたこと

- 年4回の研修
- 町内で6万円の予算
- 全ての小中学校への支援

小学校現場-教員から

— 沖縄県における移動する子どもたち

日本語教室通級児童数の推移 (沖縄県北谷町 発表者担当小学校)

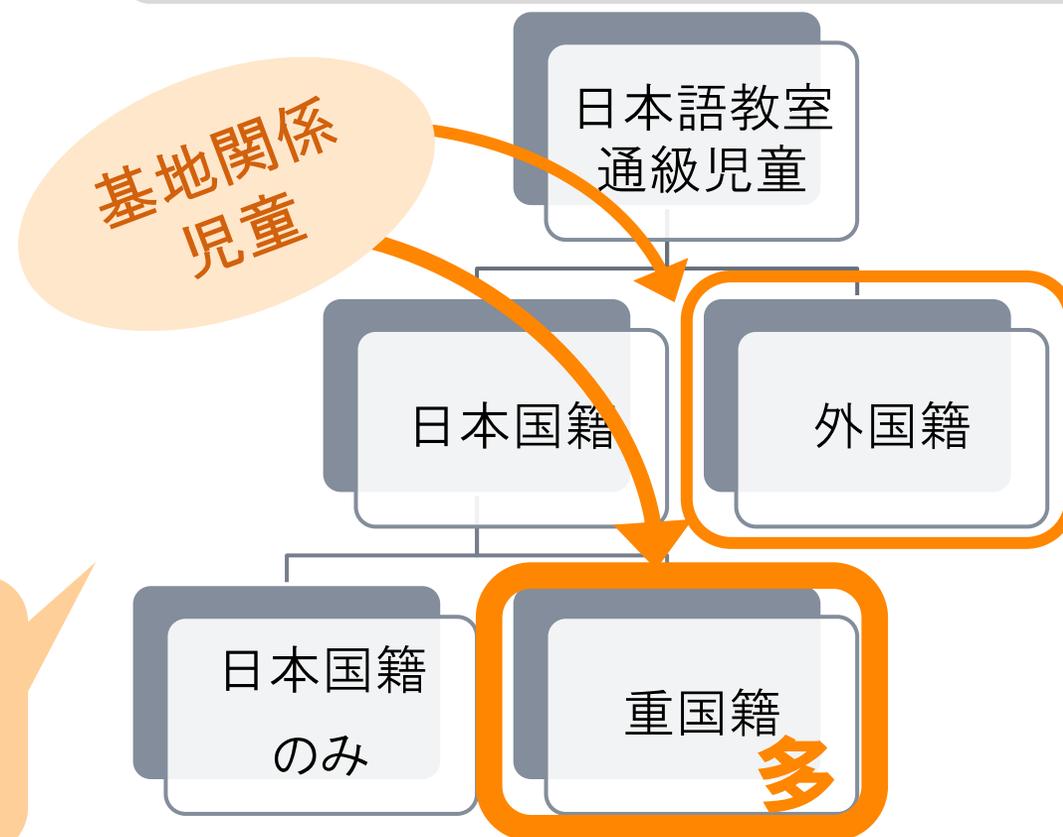
	年度始 (4月)	年度末 (3月)
2017年度	8名	3名
2018年度	8名	3名
2019年度	9名	6名

※3年間(2017.4~2019.3)在籍1名のみ

課題:

短期間での移動や子どもの進路を
念頭においた対応、カリキュラムづくり

日本語教室通級児童の国籍



小学校現場-管理職から 一連携・支援の難しさ

小学校

保護者側との問題点

- 急な転入出
- 保護者から支援を断られる
…特に重国籍児童生徒の場合

教育委員会側との問題点

- 入学予定者の情報が住所のみ
…個人情報開示問題

改善策案

- ①外国につながる子どもの入学のための窓口(専門の部署・担当者)の設置
- ②県教育委員会に日本語支援担当主事の配置

小学校現場-管理職から

—行政・地域との支援体制づくり

実践したこと

- ① 各市町村教育委員会への働きかけ
- ② 教育事務所と連携し研究会主催
(DLA講座等)

改善されたこと

- 加配配置の意義・必要性の理解促進
- 日本語支援員・教室増
- 教員研修の機会増

➡ 更なる支援体制改善のために、皆さんのお知恵をかしてください。

課題： 沖縄県教育委員会に日本語支援担当主事配置